

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	03	174390	観光案内板整備事業(新規)	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-4	観光の振興			
	施策	3	移動しやすい観光地			
目的	観光客が花巻市内をスムーズに移動できるように、案内版を充実させる。					
対象	観光客					
意図	観光客が移動しやすく、市民が案内しやすい環境を整備する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○標識、案内板等の現状を把握する。 ○不要な案内板の撤去、表示の変更、案内板の新設等、市域全体を網羅した方針を策定する。 ○年次ごとの道路改良、施設の改廃に合わせて、撤去、変更、新設の作業を行う。						
市民参画の有無 [ 無 ]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	案内板の撤去、変更、新設	件	計画			
			実績			
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	案内板表示に満足した観光客の割合【観光客アンケート】	%	目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成28年度は主に案内看板の現状を確認する調査を実施し、それに基づき平成29年度から改修撤去等の整備を実施することから、成果指標として、観光客が目的地まで案内看板を利用してスムーズに移動できたかどうかのアンケート調査を実施する。アンケートにより現状を把握し、満足度の数値向上を図る。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	観光客が移動しやすく、市民が案内しやすい環境を整備することは、観光立市の実現を目指す市の責務である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	観光客がスムーズに移動できる環境は時間的余裕を創出し、市内の回遊性向上が期待できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業の進捗状況により削減できる可能性がある。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	観光客が移動しやすく、市民が案内しやすい環境を整備することは、更なる交流人口の拡大が期待でき市全体に受益を及ぼす。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
観光客が移動しやすい環境づくりはリピーターの増加も期待できることから、全体の把握と随時見直しを行いながら環境整備を続ける必要がある。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	03	174390	観光案内板整備事業(新規)

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			8,856		8,856
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		8,856		8,856

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標  
国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯  
標識、案内版の不備、表示等に対する指摘と要望

事業概要  
○標識、案内板等の現状を把握する。  
○不要な案内板の撤去、表示の変更、案内板の新設等、市域全体を網羅した方針を策定する。  
○年次ごとの道路改良、施設の改廃に合わせて、撤去、変更、新設の作業を行う。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等  
道路形状や、既存の道路標識等との兼ね合いによる、新規設置箇所の確保

担当部署 部名 商工観光部 課名 観光課 担当係長 畠山 英俊 内線 290 (単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○ 目的

案内標識、案内板の中には、設置から相当年数が経過したものがあため、路線の変更や施設の改廃等により、表示内容の修正が必要なものが相当数発生している。  
この状況を改善するため、現在の配置状況、表示内容をすべて把握し、今後の撤去・変更・新設を行うための年次計画を作成する。

○ 課題

- ・ 表示内容が不正確
- ・ 案内施設名及び外国語表記の不統一
- ・ 文字サイズの不統一
- ・ 連続性の問題
- ・ 老朽化の問題

○ 事業手法

